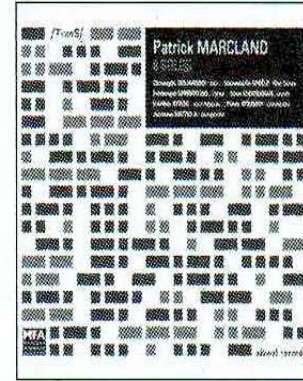


## ■柿市 如 (音楽学)

1944年生まれのマルクランはジャズから出発した上、近年まで父の設立した楽譜出版社トランザトランティックの社長を務めていたため(平義久やミユライユらの作品も出版)、作品数(とくに93年以前)は少なく知名度も低い。とはいえアンサンブル・アンテルコンタンポラン(以下EIC)とのつながりは深いようで委嘱作品は79年に始まり数曲ある。全ソロ器楽作品を集めたこのアルバムの大半も、初演も行なったEICのメンバーによる演奏。ブルーーズ、バリフらの影響を感じさせつつも、2音交替や一定の音程内でのパッセージの繰り返し、耳あたりのいい音色使いなどにより聴きやすい音楽となっている。管弦楽ではデュティユーらを思わせるフランス的な響きも。スウィングなどジャズの影響を語る彼のリズムの面白さが最もよく表れているのは、一番古い、ハープのための《ストレット》。せつつくような細かい音符が不規則に揺れる。カンブルランの柔らかいタッチの音色も秀逸。

## Marcland, Patrick



パトリック・マルクラン  
／8つのソロ  
〔ヴィオラ・ソロ2, ストレット, ピエール・Sのためのチェロ・ソロ, リズム、光、空間, ヴィオラ・ソロ1, サクソ・ソロ(アズ・タイム・ゴーズ・バイ), ザ・ダンサー, ウォーク・ソナタ〕

クリストフ・デジャルダン  
(va)フレデリック・カンブルラン (hp)ピエール・シュトロー (vc)エマニュエル・オフエール (Bs-fl)他  
〈録音: 2011年〉  
[Sismal Records©SR005]